

外用殺菌消毒剤

(塩酸アルキルジアミノエチルグリシン製剤)

滅菌製剤

サテニジン[®]液0.05・0.1・0.2・0.5

SATENIDIN[®]SOLUTION



〔注意〕

●外用にのみ使用すること。

〔要約〕

詳細は、D.I. 欄又は製品添付文書等をご参照ください。

サテニジン®液0.05・0.1・0.2・0.5

塩酸アルキルジアミノエチルグリシンは、グラム陽性菌、グラム陰性菌、結核菌、真菌等に広範囲に抗菌スペクトルを有するグリシン系の殺菌消毒剤で、陽イオン界面活性剤としての殺菌作用と、陰イオン界面活性剤としての洗浄作用を併せもつ両性界面活性剤である。

サテニジン液0.05・0.1・0.2・0.5は、この塩酸アルキルジアミノエチルグリシンをそれぞれ0.05%、0.1%、0.2%、0.5%含有する無色～微黄色澄明の水溶液で、高圧蒸気滅菌した製剤です。



- 識別を容易にするために、キャップとラベルの色調を濃度別に色分けしています。
- 500mL、1000mLは、ゴムパッキン方式のキャップなので、開栓はワンタッチです。

院内製剤業務の省力化に……

従来院内で行われていた計量・希釈・充てん・滅菌・ラベル表示・洗瓶乾燥等の手間が省けます。



希釈済

計量・希釈ミスの防止に。

用途に応じて各種濃度液がそのまま使用できます。
(更に希釈する場合には注意してください。)

滅菌済

院内感染の防止に。

消毒液の微生物汚染による感染の心配がありません。
(取扱い容器類からの汚染に注意してください。)

		サテニジン®液0.05	サテニジン®液0.1	サテニジン®液0.2	サテニジン®液0.5
商品名					
	組成・性状	塩酸アルキルジアミノエチルグリシンを0.05%含有する無色～微黄色澄明の水溶液	塩酸アルキルジアミノエチルグリシンを0.1%含有する無色～微黄色澄明の水溶液	塩酸アルキルジアミノエチルグリシンを0.2%含有する無色～微黄色澄明の水溶液	塩酸アルキルジアミノエチルグリシンを0.5%含有する無色～微黄色澄明の水溶液
効能・効果		包装 500 mL、1000 mL、5 L	包装 500 mL	包装 500 mL	包装 500 mL
	医療用具の消毒	0.05%溶液	0.05～0.1%溶液	0.05～0.2%溶液	0.05～0.2%溶液
	結核領域での使用	使用できない	使用できない	0.2%溶液	0.2～0.5%溶液
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒		0.05%溶液	0.05～0.1%溶液	0.05～0.2%溶液	0.05～0.2%溶液
	結核領域での使用	使用できない	使用できない	0.2%溶液	0.2～0.5%溶液
手指・皮膚の消毒		0.05%溶液	0.05～0.1%溶液	0.05～0.2%溶液	0.05～0.2%溶液
手術部位（手術野）の皮膚の消毒		———	———	0.1%溶液 ⇨ 0.2%溶液	0.1%溶液 ⇨ 0.2%溶液
手術部位（手術野）の粘膜の消毒 皮膚・粘膜の創傷部位の消毒		0.01～0.05%溶液	0.01～0.05%溶液	0.01～0.05%溶液	0.01～0.05%溶液

(アルキルジアミノエチルグリシンとしての濃度)

DRUG INFORMATION

商品名	和名	サテニジン [®] 液0.05	サテニジン [®] 液0.1	サテニジン [®] 液0.2	サテニジン [®] 液0.5																															
	洋名	SATENIDIN [®] SOLUTION 0.05	SATENIDIN [®] SOLUTION 0.1	SATENIDIN [®] SOLUTION 0.2	SATENIDIN [®] SOLUTION 0.5																															
製造発売元	健栄製薬株式会社																																			
日本標準商品分類番号	872619																																			
薬効分類	外用殺菌消毒剤																																			
規制区分	普通薬																																			
承認番号	(10AM)543	(10AM)542	(10AM)541	(10AM)540																																
承認年月日	1998年3月13日																																			
薬価基準	収載(1998年7月)																																			
販売開始	1998年7月																																			
組成	本品100g中 塩酸アルキルジアミノエチルグリシン 0.05g含有(0.05%)。	本品100g中 塩酸アルキルジアミノエチルグリシン 0.1g含有(0.1%)。	本品100g中 塩酸アルキルジアミノエチルグリシン 0.2g含有(0.2%)。	本品100g中 塩酸アルキルジアミノエチルグリシン 0.5g含有(0.5%)。																																
効能・効果 用法・用量	<p>アルキルジアミノエチルグリシンとして下記の濃度になるように水で希釈、またはそのまま、次のように使用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>効能・効果</th> <th>用法・用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療用具の消毒</td> <td>0.05%溶液に10～15分間浸漬する。なお、結核領域において、本剤は用いない。</td> </tr> <tr> <td>手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒</td> <td>0.05%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において、本剤は用いない。</td> </tr> <tr> <td>手指・皮膚の消毒</td> <td>0.05%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。</td> </tr> <tr> <td>手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒</td> <td>0.01～0.05%溶液を用いる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈用法・用量に関連する使用上の注意〉 本剤の各適応に対する使用濃度は上記とされているが、その使用濃度にあたっては、再評価結果に留意すること。 医療用具の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒、手指・皮膚の消毒には、0.05～0.2%溶液を用いる。また、結核領域において、医療用具の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒には、0.2～0.5%溶液を用いる(第一次再評価結果その20 1982年8月)。</p>		効能・効果	用法・用量	医療用具の消毒	0.05%溶液に10～15分間浸漬する。なお、結核領域において、本剤は用いない。	手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	0.05%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において、本剤は用いない。	手指・皮膚の消毒	0.05%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。	手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	0.01～0.05%溶液を用いる。	<p>アルキルジアミノエチルグリシンとして下記の濃度になるように水で希釈、またはそのまま、次のように使用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>効能・効果</th> <th>用法・用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療用具の消毒</td> <td>0.05～0.1%溶液に10～15分間浸漬する。なお、結核領域において、本剤は用いない。</td> </tr> <tr> <td>手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒</td> <td>0.05～0.1%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において、本剤は用いない。</td> </tr> <tr> <td>手指・皮膚の消毒</td> <td>0.05～0.1%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。</td> </tr> <tr> <td>手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒</td> <td>0.01～0.05%溶液を用いる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈用法・用量に関連する使用上の注意〉 本剤の各適応に対する使用濃度は上記とされているが、その使用濃度にあたっては、再評価結果に留意すること。 医療用具の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒、手指・皮膚の消毒には、0.05～0.2%溶液を用いる。また、結核領域において、医療用具の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒には、0.2～0.5%溶液を用いる(第一次再評価結果その20 1982年8月)。</p>		効能・効果	用法・用量	医療用具の消毒	0.05～0.1%溶液に10～15分間浸漬する。なお、結核領域において、本剤は用いない。	手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	0.05～0.1%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において、本剤は用いない。	手指・皮膚の消毒	0.05～0.1%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。	手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	0.01～0.05%溶液を用いる。	<p>アルキルジアミノエチルグリシンとして下記の濃度になるように水で希釈、またはそのまま、次のように使用する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>効能・効果</th> <th>用法・用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療用具の消毒</td> <td>0.05～0.2%溶液に10～15分間浸漬する。なお、結核領域において使用する場合は、0.2%溶液を用いる。</td> </tr> <tr> <td>手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒</td> <td>0.05～0.2%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において使用する場合は、0.2%溶液を用いる。</td> </tr> <tr> <td>手指・皮膚の消毒</td> <td>0.05～0.2%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。</td> </tr> <tr> <td>手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒</td> <td>0.01～0.05%溶液を用いる。</td> </tr> </tbody> </table> <p>〈用法・用量に関連する使用上の注意〉 本剤の各適応に対する使用濃度は上記とされているが、その使用濃度にあたっては、再評価結果に留意すること。 結核領域において、医療用具の消毒、手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒には、0.2～0.5%溶液を用いる(第一次再評価結果その20 1982年8月)。</p>		効能・効果	用法・用量	医療用具の消毒	0.05～0.2%溶液に10～15分間浸漬する。なお、結核領域において使用する場合は、0.2%溶液を用いる。	手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	0.05～0.2%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において使用する場合は、0.2%溶液を用いる。	手指・皮膚の消毒	0.05～0.2%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。	手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	0.01～0.05%溶液を用いる。
	効能・効果	用法・用量																																		
医療用具の消毒	0.05%溶液に10～15分間浸漬する。なお、結核領域において、本剤は用いない。																																			
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	0.05%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において、本剤は用いない。																																			
手指・皮膚の消毒	0.05%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。																																			
手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	0.01～0.05%溶液を用いる。																																			
効能・効果	用法・用量																																			
医療用具の消毒	0.05～0.1%溶液に10～15分間浸漬する。なお、結核領域において、本剤は用いない。																																			
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	0.05～0.1%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において、本剤は用いない。																																			
手指・皮膚の消毒	0.05～0.1%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。																																			
手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	0.01～0.05%溶液を用いる。																																			
効能・効果	用法・用量																																			
医療用具の消毒	0.05～0.2%溶液に10～15分間浸漬する。なお、結核領域において使用する場合は、0.2%溶液を用いる。																																			
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	0.05～0.2%溶液を布片で塗布・清拭するか、または噴霧する。なお、結核領域において使用する場合は、0.2%溶液を用いる。																																			
手指・皮膚の消毒	0.05～0.2%溶液で約5分間洗った後、滅菌ガーゼあるいは布片で清拭する。																																			
手術部位(手術野)の粘膜の消毒、皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	0.01～0.05%溶液を用いる。																																			
使用上の注意	<p>(1)副作用(まれに：0.1%未満、ときに：0.1～5%未満、副詞なし：5%以上又は頻度不明) 過敏症：ときに発疹、痒痒感等の過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。 (2)臨床検査値への影響 本剤で消毒したカテーテルで採取した尿はスルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。 (3)適用上の注意 1)人体 ア. 外用にのみ使用すること。 イ. 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。 ウ. 散布消毒の場合はマスクを着用するなど注意すること。 エ. 皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。 オ. 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。 カ. 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。 キ. 深い創傷に使用する場合は希釈液としては、精製水を用い、調整後滅菌処理すること。 2)その他 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落してから使用する。</p>		<p>(1)副作用(まれに：0.1%未満、ときに：0.1～5%未満、副詞なし：5%以上又は頻度不明) 過敏症：ときに発疹、痒痒感等の過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。 (2)臨床検査値への影響 本剤で消毒したカテーテルで採取した尿はスルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。 (3)適用上の注意 1)人体 ア. 外用にのみ使用すること。 イ. 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。 ウ. 散布消毒の場合はマスクを着用するなど注意すること。 エ. 濃厚液の使用により、皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。 オ. 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。 カ. 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。 キ. 深い創傷に使用する場合は希釈液としては、精製水を用い、調整後滅菌処理すること。 2)その他 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落してから使用する。</p>		<p>(1)副作用(まれに：0.1%未満、ときに：0.1～5%未満、副詞なし：5%以上又は頻度不明) 過敏症：ときに発疹、痒痒感等の過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。 (2)臨床検査値への影響 本剤で消毒したカテーテルで採取した尿はスルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。 (3)適用上の注意 1)人体 ア. 外用にのみ使用すること。 イ. 眼に入らないように注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。 ウ. 散布消毒の場合はマスクを着用するなど注意すること。 エ. 濃厚液の使用により、皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので、注意すること。 オ. 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。 カ. 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。 キ. 深い創傷に使用する場合は希釈液としては、精製水を用い、調整後滅菌処理すること。 2)その他 石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を洗い落してから使用する。</p>																															
薬効薬理	<p>(1)塩酸アルキルジアミノエチルグリシンは、陽イオン界面活性剤としての殺菌作用と、陰イオン界面活性剤としての洗浄作用を併せ持つ両性界面活性剤である。 (2)本剤は使用濃度において、グラム陽性菌、グラム陰性菌、真菌等に有効であるが、結核菌、芽胞に対する殺菌効果は期待できない。</p>		<p>(1)塩酸アルキルジアミノエチルグリシンは、陽イオン界面活性剤としての殺菌作用と、陰イオン界面活性剤としての洗浄作用を併せ持つ両性界面活性剤である。 (2)本剤は使用濃度において、グラム陽性菌、グラム陰性菌、結核菌、真菌等に有効であるが、芽胞に対する殺菌効果は期待できない。</p>																																	
性状	<p>〈製剤の性状〉 本品は無色～微黄色澄明の液で、においはない。滅菌製剤である。 pH：7.0～9.0</p> <p>〈有効成分に関する理化学的知見〉 一般名：塩酸アルキルジアミノエチルグリシン (Alkyldiaminoethylglycine Hydrochloride)</p> <p>示性式：[RNH₂CH₂CH₂NHCH₂CH₂NHCH₂COOH]・HCl (Rは主としてC₁₂H₂₅及びC₁₄H₂₉からなる。)</p>																																			
取扱い上の注意	<p>〈貯法〉室温保存 〈使用期間〉3年 〈使用期限〉容器等に表示 (注意) (1)開封時及び開封後は、微生物による汚染に注意すること。 (2)次の医薬品等が混入すると、沈殿を生ずるので注意すること。 ヨードチンキ、マーズコロコロム、硝酸銀、フェノール、過酸化水素、過マンガン酸カリウム等 (3)金属器具を長時間浸漬する必要がある場合は、0.1～0.5%の割合で亜硝酸ナトリウムを溶解すること。</p>																																			
包装	500mL、1000mL、5L	500mL	500mL	500mL																																
文献請求先	健栄製薬株式会社 学術情報部 〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号																																			

[詳細は添付文書等をご参照ください。]